

# プール競技オフィシャル連携マニュアル

# 徹底すること

(オフィシャル全体)

- 常に時間を意識する(タイムテーブルどおりのスタート)
- 時計を合わせる
- 全体の流れを熟知する
- 無駄のない連携  
サインと無線連絡(特にサイン)



具体的に

# レフリー

- **基本的には本部に常駐する**
- **対応事態発生時に対応場所へ移動する**

# サブレフリー

- **各チーム**より失格の報告を受ける
- 失格者に対して失格と失格理由を通告する  
(失格表を受け取った上で)
- 失格通告後失格表を**レフリー**へ提出する
- レフリーのサポートをする

# マーシャル

- **スタート時間 10 分前に 1 ヒート目～3 ヒート目の召集を完了させ並ばせる**
- **まず 1 ヒート目～3 ヒート目の競技者がそろい次第即時スタートコース及びプールサイドへ誘導する**
- **上記競技者が移動したら次ヒート目の競技者を並ばせ、順次呼び出しを行う**

# スターター

- **各チーム**よりセッティング及びオフィシャル準備完了の合図を**チェックスターター**がサイン(**片手をあげる**)で受ける
- スタート前に各ヒートスタートの連絡をいれる
- スターター自身のタイミングと判断でスタートの合図を行う
- 決勝に関しては(タイム決勝以外)、**レフリー**の指示による競技者紹介、チーム紹介の放送終了後スタートの合図をする
- 不正スタートをとった場合、まず**サブレフリー**へ失格のコースを連絡
- 失格表を記入しヒートごとにまとめて**サブレフリー**に提出する

# 泳法ジャッジ

- 各ジャッジの準備完了を確認し**チーフ**が**チェックスターター**へサイン(片手をあげる)で連絡する
- 不正スタートがあった場合フライングローブを落とす
- **チーフ**が**サブレフリー**へ失格の有無の連絡をする
- 失格表を記入しヒートごとにまとめて**サブレフリー**に提出する

# ビデオ記録員

- 各ジャッジの準備完了を確認し**チーフ**が**チェックスターター**へサイン(**片手をあげる**)で連絡する
- 判定確認の際、状況に応じてその場でもしくは本部のモニターで見るために提示する
- **バッテリーの残**を注意しておく

# 計時ジャッジ

- 各ジャッジの準備完了を確認し**チーフ**が**チェックスターター**へサイン(**片手をあげる**)で連絡する
- レスキューチューブを装着してスタートする競技において危険な状態にあると確認された場合、**スターター**へサイン(**片手を左右に振る**)で連絡する
- 補助としてまたは機械無作動、誤作動の際の公式記録としてストップウォッチでタイムを計るが担当コースが空いている場合は必ず他のコースの記録をとる
- 計測ミスをした場合は気づいた時点で即座に**チーフ**へサイン(**両手をクロスさせる**)で連絡する

- **チーフがサブレフリーに連絡へ失格の有無を連絡する**
- **失格表を記入しヒートごとにまとめてサブレフリーに提出**
- **競技終了した競技者をサブレフリーのいる場所へ行くように指示する**

## 折り返しジャッジ

- 各ジャッジの準備完了を確認し**チーフ**が**チェックスターター**へサイン(**片手をあげる**)で連絡する
- **チーフ**が**サブレフリー**へ失格の有無を連絡する
- 失格表を記入しヒートごとにまとめて**サブレフリー**に提出する

# マネキンチームジャッジ

- 各競技種目のセッティングの完了及び各ジャッジの準備完了を確認し**チーフ**が**チェックスターター**へサイン(**片手をあげる**)で連絡する

# 機械操作およびレコーダー

- 機械操作により公式タイムの管理をする
- 機械の無作動、誤作動の際は即座に**計時ジャッジチーフ**に連絡する
- **PT 担当**より棄権した競技者および空いているコースの連絡を受け確認する
- **レフリー**より失格表の提出を受ける



まとめると

# 全体の流れ

